

令和3年5月17日

市川市長 村越祐民殿

村越祐民市長に対し健全な市政運営を求める議員有志の会

共同代表 増田 好秀

清水みな子

## 公平公正な新型コロナワクチン接種の実現を求める申し入れ

本市は、令和3年5月12日より、年齢区分別に新型コロナワクチン接種の予約を開始した。

本市ホームページによると、予約の方法は「電話もしくはWeb」とした上で、予約の集中を避けることを理由に予約受付の開始時期をずらしているとのことであり、「ご自分の年齢区分の予約開始日になったら接種券を見ながら予約してください」との呼び掛けを行っている。そして、90歳以上の方については5月12日(水)9時から予約を開始する一方、65歳以上70歳未満の方については6月6日(日)9時からの予約受付とするなどといった説明がなされている。

しかしながら驚くことに、この予約システムには年齢ごとの受付可否を制御するための機能が搭載されていないことから、接種券に記載された「券番号」と「生年月日」を入力さえすれば、予約開始時期にかかわらず65歳以上の方であれば“誰でも今すぐに予約が完了できる”状況になっており、実際に90歳未満の方々であっても予約を完了できている事例が散見される。

また、電話予約においても、生年月日を告げると予約開始時期の説明こそなされるものの、基礎疾患があることなどを理由に「かかりつけ医と相談した結果、一刻も早く接種予約するよう指示を受けた」旨が告げられると、この真偽を問うことなく予約を受け付けてしまう運用がなされているとのことであり、同様に予約受付時期にかかわらず 65歳以上の方であれば“誰でも今すぐに予約が完了できる”状況が認められる。

そして、この事実は予約開始から数日しか経過していない本日までの間に口コミなどで市民の間に広まっており、我々有志議員各位にも、「正直者がバカを見る」「やったもん勝ち」「不公平だ」などといった苦情が数多く寄せられているが、多くの市民が相次ぐ緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を受けワクチン接種を巡り緊張感が極度に達している中で、このような不公平な取扱いがなされることに、従来にも増して村越市政への不信感を増大させていることは言うまでもない。

この点、村越市長は「5月12日から予約の集中を避ける対策を取りながら65歳以上の方に対する新型コロナワクチンの予約を順次開始します。混乱することなく接種が進められるよう体制強化に努めてまいります」などと説明していたものの、その結果は、一刻も早い予約を求める方々により「順次開始」どころか「一斉予約開始」状態となり、「予約は集中」し、「混乱することなく」どころか、「混乱は極まるばかり」である。

予約システムに年齢ごとに受付可否を制御するための機能を搭載しなければこのような問題が生じることは誰でも容易に想像できたはずであるが、この点十分に認識していながら市民や議会に対する説明を意図的に怠っていたのであれば、公的な説明と異なる実態でオペレーションを進めてきたことを意味することとなり、「大変悪質な行政運営」との誹りは免れない。

また逆に、これまでデジタルトランスフォーメーション（「DX」）の推進に多額の予算を投じてきた村越市長が、かかる事態を全く以て予測できなかったとすれば、我々は驚嘆を通り越してただただ呆れるばかりであるが、百歩譲って、年齢ごとの受付可否を制御するシステムの導入が困難であったのならば、受診券の送付時期を年齢ごとに段階的に調整すれば良かっただけのことであり、議会においてこれまで再三再四指摘されている、「村越市長のマネジメント能力の著しい欠如、想像力の貧困さ、先見性のなさが改めて露呈した」と指摘せざるを得ない。

いずれにしても、現状が改められない限り、今後始まるであろう64歳以下の方々に対するワクチン接種に際しても更なる混乱が再び生じることは火を見るよりも明らかである。

ついては村越市長に対し、予約受付システムの仕様や業務のオペレーションを検証した上で、予約の集中を避け、すべての市民が公平公正に予約手続きを完了し、混乱のないワクチン接種を実現できるよう改善を求めるものである。

以上